

# チーム医療の紹介

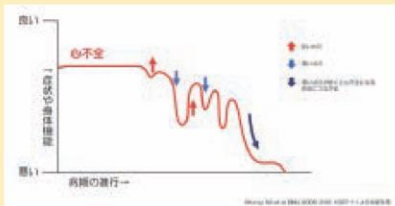
第4弾

## ハートサポートチーム

心臓血管センター内科 医師 <sup>あしだ かずひろ</sup> 芦田 和博

多くの病気が、臓器単独ではなく、体内で様々に関係しあって発症・進展することがわかってきました。心臓病も心臓単体だけではなく、栄養状態・運動不足（フレイル）・他の病気と複雑に関係して進行・悪化します。また患者さまが高齢化することで、様々な疾患が合併していることも多くなりました。

よって、心臓病を改善させるためには、医師の診察を受けるだけでなく、それぞれ専門のスタッフからアドバイスを受け、お身体全体から介入することが必要となります。特に心不全はより集約的（チーム医療）が必要となる疾患群です。当院では上記を鑑み、人に優しい、プロ意識の高い各スタッフで協働し、患者さまにより良い医療を提供するためにハートサポートチームを構成しました。ハートサポートチームを通じてみなさまの心臓をお守りします。是非ご活用ください。



### ハートサポートチームについて

西3病棟 看護師 <sup>うちの ともみ</sup> 内野 友美

#### ◎チームメンバー

- 心臓血管センター内科医師
- 心不全療養指導士（看護師、薬剤師、管理栄養士）
- 心臓リハビリテーション指導士（理学療法士）

#### ◎特徴・取り組み

- 心臓疾患（心不全）を有する患者さま、そのご家族に対して最適な療養指導を行なっています。
- 入退院を繰り返し心不全を悪化させないための教育・病状モニタリング・服薬管理などを 含む疾患管理をサポートしています。

#### ◎メッセージ

心不全を悪化させないように自己管理をしていくことがとても大切です!! 私たちハートサポートチームでは患者さまの心（臓）を支える応援団としてチーム一丸となり療養支援をいたします。



### 外来看護師

看護師 心不全療養指導士 <sup>さとう あさみ</sup> 佐藤 亜紗美

#### みなさまのことを教えてください！

外来では、心不全で入退院を経験した方や心臓の病気で外来通院している方を対象に関わらせていただいています。心不全は繰り返すことでだんだんと悪くなっていく病気です。悪化して入院することがないように、減塩・運動といった療養生活のコツや、住環境を考慮したサポート体制の提案を行っています。そのために今までの生活について細かく伺います。仕事やご家族のこと、不安や疑問点、これから大切にしていきたいことなど。みなさまのことをたくさん教えてください。

患者さまやご家族の方が安心して苦痛の少ない生活を送れますよう、一緒に考えていきたいと思っています。

### 栄養課

管理栄養士 心不全療養指導士 <sup>ものえ さきこ</sup> 物江 咲子

#### ライフスタイルに合わせた食事提案

心不全で入院・通院される患者さまを対象に個別の栄養食事指導を行っています。患者さまとじっくりお話をし、今までの食生活を一緒に振り返り、その方にあった食事改善の提案ができるよう努めています。

入院患者さまには、減塩食を提供しています。入院中の食事は、薄味加減や味付けの工夫、食事バランスなどを知っていただけの良い機会です。自宅での食事と比較しながら食べてみると、今後何に気をつけたらよいか具体的にイメージしやすいかと思います。



長年培われた食習慣を変えることは容易ではありませんが、無理なく食事療法に取り組んでいけるよう、入院中から外来まで管理栄養士が継続的にサポートしていきます。

### リハビリテーション課

理学療法士 <sup>おおさわ ともき</sup> 大澤 智貴

#### イキイキとした生活を！

「心臓リハビリテーション」という言葉はご存じでしょうか。運動療法として、心肺運動負荷試験の結果を基に、患者さまにあった運動処方箋を作成し、主に有酸素運動と筋力訓練、患者指導を行っています。集団で実施しているため、患者さま同士の意見交換の場にもなっており、励まし合いながら取り組まれている姿も見られます。入院だけでなく外来でも実施しており、退院後の生活に対してもフォローをしています。患者さまのなかには、『お友達とご飯に行けるようになりました。』『旅行に行ってきました。』との、社会復帰できた声も頂いています。



今後も、患者さまの社会復帰を目指し、チームとして「心臓リハビリテーション」を実施していきます。

### 薬剤課

薬剤師 心不全療養指導士 <sup>いけだ めぐみ おがわ みき</sup> 池田 恵美・小川 未希

#### 心不全患者さまのニーズに応えるために

社会の高齢化に伴い心不全パニックが起きていると言われています。そこで少しでも心不全を予防し、悪化を防ぐ知識をつけていただくために他職種と協力して指導をおこなっています。心不全は一度なってしまうと、一生付き合っていかなければなりません。調子がよくなっても、お薬の服用をやめると悪くなるため、セルフケアが非常に重要です。そこで私たちは十分な治療効果が得られるように、患者さまにとって理解しやすい服薬指導を心掛け、1人ひとりが不安なくお薬を服用できるようお手伝いしています。また副作用や効果の継続的な確認が行えるよう調剤薬局と連携し患者さまのサポートを行っています。



### 病棟看護師

看護師 心不全療養指導士 <sup>たけの さやか</sup> 竹野 紗也加

#### 心臓の病気と共に生きていくためのサポートをしています

入院中の患者さま、そのご家族の希望に添ったケアの実践を行っています。心臓の病気について、1人ひとりの病状や生活に合わせた療養生活の支援、指導を行っています。また、週1回ハートサポートメンバーを含めたカンファレンスを実施しています。心臓血管センター内科医も交え入院から退院後までの生活を踏まえた支援を検討しております。患者さま、そのご家族が納得し、最善のケアになるよう寄り添っていきます。

